

IBM Rational PurifyPlus



ハイライト

- 見つけにくいバグの特定
- パフォーマンス・ボトルネックをハイライト表示
- テストしていないコードを特定
- アプリケーション全体または一部のモジュールのみを分析可能
- WebSphere® Studio、EclipseおよびMicrosoft® Visual Studio.NETと直接連携
- Java™、すべてのManaged Visual Studio.NET言語、Visual C/C++、Visual BasicおよびANSI C/C++をサポート
- Windows®、UNIX® およびLinux® 環境に対応
- ソース・コードの有無に関わらず分析可能

Rational PurifyPlus™ (以下PurifyPlus) は、アプリケーションの信頼性とパフォーマンスの向上を目指して設計されたランタイム分析ツール群です。PurifyPlusは、メモリー・エラーやリークの検出、アプリケーション・パフォーマンスのプロファイリングおよびコード・カバレッジ分析を、単一のパッケージに完全統合しています。これらの機能を併用して、開発者は高い信頼性とパフォーマンスを備えたソフトウェアが、確実にリリース可能になります。

統合開発環境 (IDE) でより多くの処理を実現

PurifyPlusを導入することにより、WebSphere Studio、EclipseまたはMicrosoft Visual Studio.NETを使用している開発者は、統合開発環境 (IDE) においてより多くのことを達成できます。これらの環境内で、PurifyPlus独自のメニューを使用すると、IDEユーザー・インターフェースに分析結果が表示されます。PurifyPlusを利用すれば、作成されたコードに対して多様なツールを交互に使用する必要はなく、コード分析を簡単に実行できます。

Rational XDE™ Developerを用いてモデル駆動型開発を行っている場合、IDE内からも多くのことを実行できます。PurifyPlusは、同じIDE内で直接実行されるRational XDE Developer Plusに直接連携することが可能です。Rational XDE Developer Plusには、PurifyPlusの標準機能に加えてビジュアルト

レース機能が備わっており、アプリケーションの実行を視覚的に分析してデバッグが可能です。Rational製品は、ビジュアル表示によるモデリングとランタイム分析をIDEに統合することで、現在の開発環境における作業効率を格段に高めます。

Microsoft Visual Studio.NET、またはその他のIDEを使用している場合、これらの環境からPurifyPlusをスタンドアロンとして起動できます。

信頼性の高いコードを短期間で開発

PurifyPlusでは、アプリケーション全体または部分的分析を実行できます。分析対象を選択することにより、検証対象としたモジュールのみを分析できます。これによってテスト環境を柔軟に設定し、ランタイム分析でのデータ収集をより容易に効率よく実行できます。

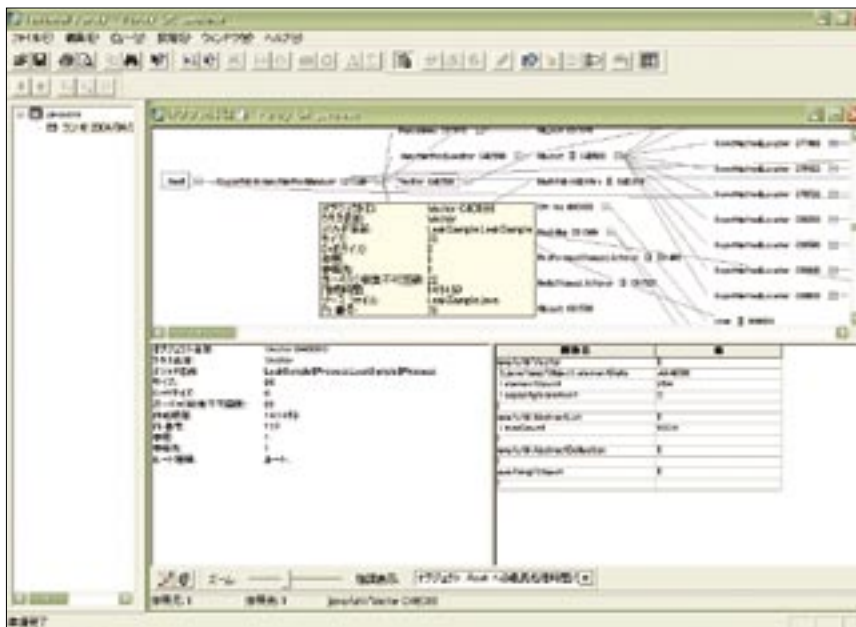
多くの開発者は「ランタイム分析を評価している反面、実行に手間や労力がかかることで開発が長期化するのではないかと懸念していますが、PurifyPlusは、独自の分析技術により、開発を遅延させず (再コンパイル不要)、実行可能プログラムを直接分析できます。この機能は、主要なプログラミング言語で実行可能なため、異なるベンダーによるツールを複数使用する必要はありません (次ページの「製品機能の概要」を参照)。

PurifyPlusは、広範囲にわたる開発プラットフォームと開発言語に対応し、信頼性の高いコードをより迅速に開発するためのランタイム分析機能を提供します。

チーム開発をより容易に

PurifyPlusとRational ClearQuest®(以下ClearQuest)を組み合わせることにより、コード内にバグが発見された時点で直ちに障害レポートを作成できます。PurifyPlusとClearQuestは、幾種類かのRational Suite®において、他のライフサイクル・サポートツールと共にパッケージ化されています。チーム開発における、すべてのニーズに応えられる単一の統合ソリューションを実現することが可能です。

Rationalが提供するソリューションを使用すれば、ランタイム分析機能も含むアプリケーション開発ライフサイクル全域をシームレスに支援できます。Rational製品の活用により、チーム単位での開発作業が容易になり、信頼性の高いコードを短期間で開発できるようになります。



PurifyPlusオブジェクト参照グラフには、現在のオブジェクトを参照しているオブジェクト、および現在のオブジェクトが参照しているオブジェクトが表示されます。

詳細については、Rational製品ページ

ibm.com/jp/software/rational/products/をご参照ください。

製品機能の概要

機能	PurifyPlus Enterprise Edition ¹	PurifyPlus for Windows	PurifyPlus for Linux and UNIX	Purify for Windows	Purify for Linux and UNIX
メモリーの破損検出	C/C++	C/C++	C/C++	C/C++	C/C++
メモリー・リークの検出	C/C++、Java、Managed Microsoft Visual Studio.NET	C/C++、Java、Managed Microsoft Visual Studio.NET	C/C++、Java ²	C/C++、Java、Managed MSVS.NET	C/C++
パフォーマンス・プロファイリング	C/C++、Java、Managed MSVS.NET、Microsoft Visual Basic 6	C/C++、Java、Managed Microsoft Visual Studio.NET、Microsoft Visual Basic6	C/C++、Java ²	N/A	N/A
コード・カバレッジ分析	C/C++、Java、Managed MSVS.NET、MSVB6	C/C++、Java、Managed Microsoft Visual Studio.NET、Microsoft Visual Basic6	C/C++、Java ²	N/A	N/A

¹ PurifyPlus Enterprise Editionは、PurifyPlus for WindowsとPurifyPlus for Linux and UNIXのバンドル製品です。

² Sun Microsystems Solaris環境でのみJavaがサポートされます。

IBM Rational PurifyPlusの機能と利点

機能	説明	利点
メモリーの破壊およびメモリー・リークの検出	見つけにくいバグの自動検出	<ul style="list-style-type: none">・実行信頼性の向上・デバッグ時間の軽減
アプリケーションパフォーマンスの プロファイリング	アプリケーションパフォーマンスのボトルネックを ハイライト表示	<ul style="list-style-type: none">・アプリケーションのパフォーマンス改善・パフォーマンス最適化に最も重要なコードの特定
コードカバレッジ分析	テストされていないコードの特定	<ul style="list-style-type: none">・未検証の機能がユーザー・サイトで実行されることを回避
独自の分析技術	バイト単位またはオブジェクトレベルでのコード分析	<ul style="list-style-type: none">・コード分析のための再コンパイルまたは再リンクが不要・ソースコードなしに全コンポーネントを分析
サーバー・サイドのJavaサポート	Webサーバーやアプリケーション サーバーのJSP、 Javaサーブレット、EJB、J2EEコードを分析	<ul style="list-style-type: none">・サーバー・コードとクライアント・アプリケーションの信頼性および パフォーマンスの向上
Microsoft Visual Studio.NET内で 直接稼働、またはスタンドアロンで稼働	WebSphere Studio、Eclipse、Visual Studio 6、 Visual Studio.NETおよびVisual Studio 6内に インストールし、IDE環境からPurifyPlusを起動	<ul style="list-style-type: none">・異なるユーザー・インターフェースを用いた多様なツールへの切り換えが不要・より包括的で生産性の高い開発環境を提供・作成中にコードをテストおよび分析可能・現在のIDEにランタイム分析を組み込むことにより、開発環境を拡大 スタンドアロン動作により、ランタイム分析の実行方法に柔軟性を追加
プログラミング言語の包括的なサポート	C/C++、Java、Managed.NET言語（VB.NET、C# を含む）およびMicrosoft Visual Basic V6の サポート	<ul style="list-style-type: none">・PurifyPlusは、Windowsベースのあらゆるアプリケーション開発に必要な、 唯一のランタイム分析ツールを提供
分析対象の選択	分析対象のアプリケーション・モジュールを選択可能	<ul style="list-style-type: none">・アプリケーション全体を分析せずに、必要なモジュールのみをテスト可能・担当箇所のコンポーネントのみを選択可能・テスト環境の柔軟性を大幅に向上・ランタイム分析におけるデータ収集処理をより容易に実行

システム要件

オペレーティング・システム	ソフトウェア
Microsoft Windows 32-bit x86プラットフォーム	言語とコンパイラ
<ul style="list-style-type: none"> Windows 2000 Windows XP Windows 2003 Server 	<ul style="list-style-type: none"> Microsoft Visual C++ 6.0およびVisual Studio 6.0 service pack 4, 5, 6環境でのVisual Basic 6.0 Microsoft Visual C++ 6.0 processor pack Visual Studio.NET 2002, 2003 or 2005環境でのMicrosoft Visual C++ (unmanaged)、C++ .NET、ASP.NET、Visual Basic.NET、C#、J# IBMまたはSun JVM 1.4.2 or 5.0環境でのJava
Sun Solaris SPARCプラットフォーム	言語とコンパイラ
<ul style="list-style-type: none"> Solaris 8 Solaris 9 Solaris 10 	<ul style="list-style-type: none"> Sun ONE Studio 7 (V5.4)、Studio 8 (V5.5)、Studio 9 (V5.6)、Studio 10 (V5.7)、Studio 11環境でのC/C++ gcc/g++ 2.95.x、3.0.x、3.1、3.2、3.3、3.4 or 3.4.3環境でのC/C++ IBMまたはSun JVM 1.4.0 or 1.4.1環境でのJava (メモリーエラーおよびリークの検出、パフォーマンス・プロファイリングは32-bitおよび64-bit対応、コードカバレッジは32-bit対応)
HP-UX PA-RISCプラットフォーム	言語とコンパイラ
<ul style="list-style-type: none"> HP-UX 11.0 HP-UX 11i (11.11) HP-UX 11i v2 (11.23) 	<ul style="list-style-type: none"> HP aCC 3.31、3.33、3.34、3.37、3.39、3.45、3.50、3.52、3.55、3.56、3.60、3.63 or 3.65 (32-bitおよび64-bit)環境でのC/C++ gcc/g++ 2.95.x、3.0.x、3.1、3.2、3.3 or 3.4 (32-bitのみ)環境でのC/C++
IBM AIX®プラットフォーム	言語とコンパイラ
<ul style="list-style-type: none"> AIX 5L V5.1 AIX 5L V5.2 AIX 5L V5.3 	<ul style="list-style-type: none"> IBM VisualAge® C++ 6.0およびXL C/C++ 7.0または8.0環境でのC/C++
Linux x86/x64プラットフォーム	言語とコンパイラ
<ul style="list-style-type: none"> Red Hat Enterprise Linux AS/ES/WS 3 U5, U6 (32-bitのみ) Red Hat Enterprise Linux AS/ES/WS 4 (U1およびU2を含む) SUSE Linux Enterprise Server 9.0 (SP1を含む) 	<ul style="list-style-type: none"> gcc/g++ 2.96-112、2.96-113、3.2-7、3.2-34、3.2.2、3.2.3、3.3.1、3.3.2、3.3.3、3.4、3.4.3、3.4.4、4.0.0 または4.0.1環境でのC/C++ (AMD OpteronおよびIntel® x86 EM64T環境のRed Hat Enterprise Linux4およびSUSE Linux Enterprise Server9では32-bitおよび64-bit対応。Red Hat Enterprise Linux3環境では32-bit 対応)

注意：IBM Rational PurifyPlusは、開発環境の更新に対応するために定期的に更新されます。
この資料はV7.0.0.0の情報元を作成されています。
最新の情報は、弊社Webサイトまたは担当営業までお問い合わせください。

Rational Softwareの詳細については、ホームページをご覧ください。
ibm.com/jp/software/rational

IBM、IBMロゴ、ClearQuest、PurifyPlus、Rational、Rational Suite、XDE、WebSphere、VisualAgeおよびAIXはIBM Corporationの商標。
MicrosoftおよびWindowsはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における商標。
JavaおよびすべてのJava関連の商標はSun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標。
UNIXはThe Open Groupの米国およびその他の国における登録商標。
Intellは、Intel Corporationまたは子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標。
Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における商標。
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木 3-2-12
06-09 Printed in Japan

IBM製品・詳細情報については、
IBMホームページ<http://www.ibm.com/jp/>をご利用ください。

お問い合わせは、IBMビジネスパートナー、製品販売店、弊社営業担当員
または、ダイヤルIBM (☎ 0120-04-1992)へ。
受付時間:月～金 9:00～18:00 (祝日、12/30～1/3を除く)
携帯電話でおかけのお客様は下記の電話番号をご利用ください。
ダイヤルIBM 03-6220-8002 (この場合通話料はお客様のご負担となります。)

'06-09 月報

●このカタログの情報は2006年9月現在のものです。内容は事前の予告なしに変更する場合があります。●表示画面及び印刷帳票の出力例のうち、特に断わり書きのない出力例のデータ部分は全て架空のものです。●画面ははめ込み合成で実際の表示とは異なります。●製品、サービス等詳細については、弊社もしくはIBMビジネスパートナーの営業担当員にご相談ください。